

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第1節 「潤い」のある教育の推進										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3101	少人数指導の充実	教育委員会 教職員課		基礎・基本の徹底と子どもたちの個性や能力を伸ばし豊かな心を育むため、教員免許を有する少人数指導サポートプラン臨時教員を小中学校に配置します。	臨時教員数 30名 (小学校20、中学校10)	135名	少人数指導サポートプラン臨時教員補助員を小学校に30人、中学校に18人、計48人増員しました。これにより、児童・生徒一人ひとりの理解や習熟度に応じた授業を行い、基礎学力の向上と、きめ細かな指導の充実に努めました。 臨時教員数88名(小学校57名、中学校31名) [今後の取組・課題] 少人数指導サポートプラン臨時教員補助員を未配置のすべての小中学校(70校)に配置します。	[] ()	59 市立小・中・養護学校に配置されている少人数指導サポート臨時教員を増員していきます。	
1109	環境教育・学習の推進 (再掲1章1節)	環境局 環境総務課	教育委員会 指導1課	環境への意識を高めるため、リサイクル活動や学校緑化コンクールへの参加、学校ビオトープの管理・活用などを充実します。また、環境教育・学習を推進していくための総合的方針・計画を策定し、個人が自発的に環境保全に取り組む活動を支援します。	リサイクル活動実施校62% 環境美化活動実施校63% 総合的方針・計画の検討	90% 90% 策定 (19年度) 推進	環境教育資料「けやき(中学生用)」の改訂版の作成を行いました。学校環境緑化コンクールへは33校が参加しました。県緑化コンクールへも4校推薦し、すべて入賞しました。学校ビオトープについては、小・中学校24校で活用中です。 他市の情報収集に努めながら、庁内委員会を開催し、「さいたま市環境教育基本方針」の策定に着手しました。また、環境教育・学習の一環として「環境保全標語ポスター作品コンクール」「アースミュージカル」を実施しました。 リサイクル活動実施校65% 環境美化活動実施校92% [今後の取組・課題] 市の他の部署との連携を密にして進め、一層の環境教育の充実に努めます。またホテル飼育施設や学校ビオトープの老朽化に伴い、中期的な施設改善計画を策定していきます。 「さいたま市環境教育基本方針」の策定にあたっては、すでに「さいたま市の学校における環境教育基本計画」が策定されているため、環境局と教育委員会が協力・連携を図りながら、策定作業を進めます。	[] ()		平成20年4月の組織改正に伴い、環境経済局より同名を変更しました。
3102	特色のある学校づくり推進事業	教育委員会 指導1課		授業や地域の方々の憩いの場に活用できる自然園づくり、地域にある貴重な植物の保存活動、中学生が算数教師として小学校5・6年の算数の学習をサポートするなど、市立幼小中養護高等学校の創造的な「特色のある学校づくり」の取組を推進するため、毎年10校程度の推進指定校を定め、各学校を支援します。	指定校応募学校数139校	164校 (19年度)	継続実施校17校、新規の指定校6校の合計23校で取り組みました。栄和小学校の「地域に根差したワンダースクール」をはじめ、各校のテーマの実現に向け意欲的に取り組み、大きな成果をあげることができました。時限事業であり、平成19年度での事業は、完了しました。 指定校応募学校数161校 [今後の取組・課題] 「特色のある学校づくり」の趣旨を継続し、今後は研究指定校の一領域に「特色ある学校づくり」として位置付け、各学校を支援していきます。	[] ()		

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野											
第1節 「潤い」のある教育の推進											
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考	
3103	小・中一貫「潤い」の時間」の展開	教育委員会 指導1課	教育委員会 指導2課	国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指すため、潤いの時間を教育課程に新設し、小学校から中学校まで小・中一貫の系統的・継続的なカリキュラムのもと、人間関係プログラム並びに英会話を実施することにより、コミュニケーション能力をはじめとする人間関係の構築に必要な技術を学びます。	実施準備	英会話実施校数158校 人間関係プログラム見直し	当初の予定を1年前倒して、平成19年度から全小中学校(159校)で「英会話」を開始するとともに、研究推進センター校を中心とした研修により、指導方法の充実に努めました。 平成17年度に教育特区を受け、子どもたちが人間関係を構築するためのスキルを学ぶ「人間関係プログラム」の授業を市立全小中学校で実施するとともに、プログラムの効果を測るため、本市が独自に作成した効果測定を年3回実施しました。 [今後の取組・課題] 「英会話」は、39校の研究推進センター校を中心とした授業研究会を一層充実させ、小中学校の連携強化を図ります。 「人間関係プログラム」はテキストを見直し、親子関係を構築する保護者向けのプログラムを作成するとともに、家庭、地域との連携によるプログラムの定着を図ります。	{ } { }	9 9	国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒を育成します。 話し上手、聞き上手になるために必要なスキル等を学ぶ「人間関係プログラム」を実施します。	平成19年4月浦和中学校の開校により、159校に修正します。
3104	生徒指導総合計画子ども潤いプランの推進	教育委員会 指導2課		次代を担う子どもたちの健全育成を図るため、体験活動の場や機会の充実、家庭・地域社会の教育力の充実、心のサポート体制の確立、魅力ある学校づくりの推進の基本施策に基づいたアクションプログラムを展開します。	推進	アクションプログラムの見直し(19年度) 推進	社会生活を担える自立心と社会性のある子どもを育てるため、全市立中学校で職場体験活動や福祉体験活動を実施しました。 平成19年度は、「子ども潤いプラン」推進委員会で事業の見直しを行い、事業の内容に勤務観、職業観を身に付け、明確な目的意識をもって職に就くとともに、仕事を通じて社会に貢献することができるようなキャリア教育という視点を取り入れました。 [今後の取組・課題] 引き続き、全市立中学校で職場体験活動や福祉体験活動を実施します。	{ } { }	66	中学生が、地域の中で職場体験活動や福祉体験活動等の体験活動を行います。	
3105	国際理解教育・交流事業(再掲 7章1節)	教育委員会 指導1課		市立中学校の生徒や本市在住の高校生などを海外に派遣する国際交流活動、外国語指導助手や地域在住外国人ボランティアによる国際理解教育を充実します。	外国語指導助手 雇用人数 32名 外国人ボランティア登録者人数32名	32名 50名	各市立中学校より1名、計56名の生徒を10日間、ニュージーランド・ハミルトン市に、また市内在住高校2年生10名を米国・ピッツバーグ市に15日間派遣しました。外国人ボランティア11名を市内小学校に延べ36回派遣しました。さらに外国語指導助手32名を市内小・中・高等学校・特別支援学校に派遣し、国際理解教育・交流事業の推進を図りました。 外国語指導助手雇用人数 32名 外国人ボランティア登録者人数 20名 [今後の取組・課題] 小中一貫「英会話」の全校実施に伴い、外国語指導助手の質の確保が課題です。また外国人ボランティアの登録人数を増やすことも課題です。	{ } { }		外国人ボランティア登録制度については、地域講師派遣事業として推進して行きます。	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第1節 「潤い」のある教育の推進										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3106	情報教育の充実 (再掲4章4節)	教育委員会	教育研究所	普通教室等の授業用コンピュータの整備を進め、これらを授業に活用するとともに、情報モラルの適切な取り扱いを指導することにより、児童生徒の情報活用能力の向上を図るなど情報社会に参画する態度を育成します。	小学校コンピュータ室にコンピュータ40台整備した校数41 / 100校 普通教室にLANを敷設している学校0校	101校 / 101校 (19年度1校新設) 158校 / 158校	平成19年度は、37校(小学校19校、中学校18校)に校内LANを整備をしました。 また、校内LAN活用研究委員会を設置し、効果的なコンピュータを利用した指導法の研究等を行うとともに、研究発表会を開催しました。 小学校コンピュータ室にコンピュータ40台を整備した校数 101校 / 101校 普通教室にLANを敷設している学校 41校 / 159校 [今後の取組・課題] 平成20年度は、24校(小学校14校、中学校9校、特別支援学校1校)のコンピュータ教室の機器入替及び校内LANの整備を予定しており、平成23年度には、すべての小中学校等に整備が完了する予定です。 また、校内LAN活用研究委員会を組織し、効果的な指導法等の研究を進めます。	{ } ()	52 各小学校の普通教室にコンピュータを整備して、インターネット等を利用した授業ができるようにし、児童生徒の情報活用能力の向上を図っていきます。	平成20年度末の計画目標である普通教室にLANを敷設している学校158校については、浦和中学校の開校により、159校に修正します。
2405	特別支援教育事業の推進(再掲2章4節)	教育委員会	指導2課	障害のある児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育的支援を受けられるよう、市立養護学校に相談センターを整備するなど特別支援教育体制構築に向けた取り組みを進めます。	特殊学級 設置校数35校 通級指導教室 設置校6校	43校 10校 推進	平成19年4月に特別支援教育相談センター分室を開設し、相談体制の充実を図るとともに、特別支援学級を1校、通級指導教室を1校開設しました。また、新設の特別支援学校の基本計画を策定しました。 特別支援学級設置校数38校 通級指導教室設置校数7校 [今後の取組・課題] 特別支援教育相談センターの相談体制の充実を図り、学校への支援体制を構築します。また、さいたま市特別支援教育推進計画を策定し、児童生徒の推移や教室利用状況、設備状況等を把握しながら、特別支援学級等の計画的な設置を検討していきます。	{ } ()	11 軽度発達障害を含む、障害のある児童生徒とその保護者を支援するため、専門的な相談室を養護学校に設置します。	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野									
第1節 「潤い」のある教育の推進									
番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3107	教育相談・相談室 運営事業	教育委員会 指導2課	教育に関する様々な相談体制の充実のため、教育相談室や適応指導教室を運営するとともに、すべての中学校に設置したスクールカウンセラーやさわやか相談員によるカウンセリング等、児童生徒の心の悩みや不安の解消に努めます。	推進	充実	教育相談室では、学校生活上の課題や悩みの相談に応じました。特に、いじめの相談については、「さいたま市24時間いじめ相談窓口」を開設しました。また、月に3回、岩槻区本町公民館で、出張教育相談を実施しました。就学相談や発達相談を専門に受ける「特別支援教育相談センター」の分室を中央区下落合に開室し、さいたま市南部にお住まいの方の相談を受けました。 さいたま市立の全中学校に、スクールカウンセラーとさわやか相談員を配置し、中学生や小学生及びその保護者の相談に応じました。 [今後の取組・課題] 小学生及び保護者からの相談が増加しているため、相談員を増員するなど、相談システムを検討する必要があります。 また、市民の方にとって身近な教育相談室の実現のため、教育相談室の新設に向けて検討する必要があります。	{ } ()		
3108	過大規模校解消事業	教育委員会 教育総務課	小学校の新設などにより、過大規模校の解消を図ります。	事業中	推進	平成21年度に開校予定のつばさ小学校建設工事を開始しました。また、過大規模校の解消計画について時点修正の検討を行いました。 [今後の取組・課題] 各過大規模校における現状と課題が様々であることから、各学校に最も適した解消策について調査・検討を進めます。	{ } ()		
3109-1	小中学校整備事業 [施設改修等の推進]	教育委員会 学校施設課	良好な学習環境を確保するため、老朽化した校舎の改修や改築などを行うとともに、校庭の芝生化や武道場未設置の中学校で武道場整備を進めます。	事業中	推進	学校施設の安全性や快適性を図りつつ、教育環境の質的な向上を推進するため、老朽化した校舎等の改修工事や改築工事及び施設修繕を実施しました。 また、校庭の芝生化については、平成19年度は三室小学校に整備するとともに、平成20年度に整備する学校として、岸町小学校を選定しました。 [今後の取組・課題] 浦和別所小学校校舎改築の設計や桜木小学校校舎の改築工事を実施します。また、武道場未設置の中学校について、設置に向けた検討を進めます。	{ } ()	64 小学校の校庭の芝生化を進めます。	
3109-2	小中学校整備事業 [耐震補強事業]	教育委員会 学校施設課	新耐震設計法(昭和56年)以前の基準により建築された校舎等の耐震性を向上させるため、耐震診断を行い必要に応じ校舎・体育館の耐震補強工事を実施します。	事業中	推進	平成19年度は、耐震2次診断を64棟、補強設計を38棟、補強工事を28棟行い、平成19年度末の工事完了棟は、113棟となりました。 [今後の取組・課題] 引き続き、平成27年度を目途に耐震化が完了するよう、耐震2次診断、補強設計、補強工事を進めます。	{ } ()	52 新耐震設計法(昭和56年)以前の基準により建築された校舎の耐震補強を実施します。	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第1節 「潤い」のある教育の推進										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3109-3	小中学校整備事業 [空調設備設置事業]	教育委員会 学校施設課		図書室・音楽室に加え、普通教室への空調機設備を整備します。	事業中	推進	平成19年度は、小学校33校、中学校19校の合計52校の普通教室1,044室、音楽室・図書室75室に空調設備を設置しました。これにより特別教室への設置は完了しました。 [今後の取組・課題] 平成20年度中に、すべての小中学校及び市立高校の普通教室へ空調設備を設置します。	{ } ()	64 小・中学校の普通教室に空調設備の整備を推進します。	
3110	学校図書館の充実	教育委員会 教育研究所	教育委員会 教職員課	市立の小中学校すべてに、司書を配置するとともに、図書館コンピュータを設置し、蔵書情報のデータベース化・ネットワーク化により、蔵書などの共同利用化を進め、児童生徒の意欲的な学習活動や読書活動を推進します。	図書館司書 141人 図書館コンピュータ 91校	158人 (全小中学校) 158校 (全小中学校)	平成19年度は、学校図書館司書を10人増員し、目標のとおり、すべての小中学校(158校)に配置しました。 この学校図書館司書の配置により、児童生徒の読書活動を向上させるとともに、学校図書館の活性化を推進しました。 また、新たに34校に学校図書館コンピュータを整備し、158校全校への整備を完了するとともに、既導入校のうち14校について機器の入替を行いました。 [今後の取組・課題] 学校図書館司書の新設校への配置を図り、全校配置を維持します。 また、学校図書館コンピュータの既導入校13校について機器の入替を行います。	{ } ()	53 市立小・中学校の学校図書館に図書館用コンピュータを整備します。 53 市立小・中学校に学校図書館司書を配置します。	
3111	学校給食施設の整備	教育委員会 学校施設課		各学校(地域)の特色を生かした給食の実施及びきめ細やかな食の指導の充実を図り、児童生徒に、より安全でおいしい給食を提供するため、給食センターから給食の提供を受けているすべての小中学校に単独校調理場を設置します。	単独校調理場 整備済の学校 124校	136/158校	単独校調理場について、2校(与野八幡小、柏陽中)の整備を行いました。 単独校調理場整備済の学校 136/158校 [今後の取組・課題] 毎年4校程度整備し、平成25年度までに整備を完了します。	{ } ()		2校に給食を提供している給食室が2か所(大谷場東小・大谷場中、大谷口小・大谷口中)あるため、現況(平成17年度当初)の単独校調理場整備済の学校を126校に、平成20年度末の計画目標を138/158校に修正します。
3112	市立高等学校の整備	教育委員会 学校施設課		老朽化した学校施設の耐震補強工事や改築を計画的に進めます。	事業中	推進	平成19年度末までに校舎耐震2次診断11棟、校舎耐震設計を2棟実施しました。 [今後の取組・課題] 順次、耐震設計を行い耐震補強工事を推進していきます。	{ } ()		

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第1節 「潤い」のある教育の推進										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3113	中高一貫教育の推進	教育委員会 指導2課	教育委員会 学校施設課	市立浦和高校における併設型中高一貫教育校開設に向けて、具体的な建設計画の立案、教育方針・教育目標などの策定を行います。	事業中	併設型中学校 開校(19年度)	平成19年4月6日に、市立浦和中学校の開校式、入学式を挙行し、男女各40人、計80人が入学しました。 平成19年度は、プールや研修合宿棟の建設に着手しました。 【今後の取組・課題】 さいたま市にふさわしい都市型の中高一貫教育の実現に向け、課題の整理や成果の検証、教育実践の普及策の検討を行います。 また、他の市立高校についても、中高一貫教育の導入の可能性を検討します。	(H18達成済) [50] ()	市立浦和高等学校内に市立浦和中学校を新設し、両校による併設型の中高一貫教育を実施します。	平成19年4月の組織改正に伴い中高一貫教育校開設準備室より担当課を変更しました。
3114	さいたま教育コラボレーション構想の推進	教育委員会 指導1課		埼玉大学と連携し、学生による児童生徒への学習支援などの教育ボランティア活動や教員の大学講座への参加、学生へのキャリア教育などを実施し、教職員の資質向上と学校教育の充実を図ります。	推進	推進	埼玉大学等の学生による学習支援ボランティア(アシスタントティーチャー)を、幼稚園、小・中・特別支援学校112校に147人を配置しました。10年経験者研修には、埼玉大学の17講座に延べ110人、25年経験者研修には14講座に延べ22人の小・中学校の教員が受講しました。 【今後の取組・課題】 教員養成に関しては、アシスタントティーチャー増員のための募集方法の検討等を行っていきます。 教員研修では、受講講座数を増やし、選択を可能とします。今後は10年経験者数の増加に伴う講座数の確保と共に、より実践的な内容の講座の増設を図ります。	[] ()		教員研修については、教育研究所が担当しています。
3115	地域講師派遣事業	教育委員会 指導1課		市内小・中学校の各教科や総合的な学習の時間などに、地域の人材を講師として派遣します。	派遣人数 757人	790人	市内の小中学校の各教科や総合的な学習の時間などに、市立小学校で延べ479名、中学校で延べ125名、計604名の派遣を実施しました。1校あたりの派遣人数は小学校4.79人、中学校2.19人、小・中全体で3.87人となりました。小学校では、米作り、生け花、英語活動等、中学校では、琴の演奏や手話体験等をご指導いただき、大きな成果をあげることができました。 【今後の取組・課題】 学校間で活用の格差が大きくならないように申請人数が多い学校には人数を調整します。	[] ()		計画目標の現況(H17年度当初)欄の数値は、17年度当初の見込みの数値です。平成16年度末の実績は、498人でした。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第1節 「潤い」のある教育の推進										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3116	地域に開かれた学校運営の推進	教育委員会 指導1課 指導2課	教育委員会 教育総務課	家庭・地域の声を生かし、地域の学校としての運営を行うため、市立小・中・高等・養護学校全てにおいて、学校評議員制度を導入するなど、市民の視点での教育改革を進めます。	学校評議員 設置校159校	163校(全小中高養護学校) 推進	平成19年度は、さいたま市内全校(小・中・高等・特別支援学校163校)に、延べ1,128人の学校評議員を配置しました。「学校評価事業運営委員会」を設置し、研究指定校10校で連絡会議を開催するなど、学校評価システムの検証・充実を図るとともに、「さいたま市学校評価ガイドライン」と保護者用に「さいたま市の学校評価」パンフレットの作成・配布をしました。 また、保護者や地域と学校との連携を深め、広く市民が参画した学校運営を推進するため「市民参画の学校運営検討委員会」を10回開催しました。 [今後の取組・課題] 学校評議員制度を推進するとともに、学校評価システムの検証・充実を図ります。 また、平成20年度は、学校・家庭・地域の連携を強化するため、小・中学校のモデル校10校に「学校地域連携コーディネータ」を配置し、今後、モデル校における教育的効果を検討し、順次事業を拡大していきます。	{ } ()	65 市民、学校、教育委員会が連携・協力を進め、保護者や地域住民が学校づくりに参加する教育改革を実行します。	
3117	学びの向上さいたまプランの策定・推進	教育委員会 指導1課		基礎学力に加え、学ぶ意欲や自ら学び考える力の向上のために、学びの向上さいたまプランを策定し、基礎学力定着プログラム、国語力向上プランなどを推進します。また、児童生徒の得意分野を育成するために、(仮)全ての子供に得意分野づくりプログラムを策定し推進していきます。	構想・検討	学びの向上さいたまプラン、基礎学力定着プログラム、国語力向上プランの策定 (17年度) (仮)全ての子供に得意分野づくりプログラムの策定 (18年度) 推進	「学びの向上さいたまプラン推進会議」を3回開催し、プラン全体の方向性や諸施策の進捗状況等について協議・検証を行いました。 また、基礎学力定着プログラムの周知や八都県市共同「すくすく のびのび 子どもの生活習慣改善」キャンペーン推進のため、毎月23日の「ノーテレビ・ノーゲームデー」を家庭に呼びかけるなど広報活動を行いました。 得意分野の形成については、「『自分発見！』チャレンジさいたま推進委員会」を4回、担当者会議を4回開催し、児童生徒が得意分野を形成するための方法等について決定するとともに、市が主催・共催する事業の全庁調査を実施し、児童生徒が参加しやすい工夫を図りました。また、平成20年度の事業実施に向け、ポスター案、パスポート案等の検討を行いました。 [今後の取組・課題] 引き続き、「学びの向上さいたまプラン推進会議」で、プラン全体について、不断の見直しを行います。また、得意分野ポスターやパスポート等を作成・配布するとともに、プログラムに参加した児童生徒の感想等を掲載するなどホームページの更新やスタンブラリーへの支援事業を開始します。	{ } ()	10 知育の総合的な振興策「(仮称)学びの向上さいたまプラン」を策定します。 51 「(仮称)学びの向上さいたまプラン」を構成する各種施策を円滑に実施します。 67 学校での教育活動を通して、児童生徒に得意分野を形成します。	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野									
第2節 生涯学習の振興									
番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
3201	図書館整備事業	教育委員会 中央図書館	市民の主体的な学習の場として需要の高い図書館を充実するため、(仮)中央図書館(浦和駅東口市街地再開発ビル内)や地区図書館(片柳図書館、北図書館)を整備します。	事業中	片柳地区図書館開設 (18年度) (仮)中央図書館、北図書館開設 (20年度)	平成19年11月29日に中央図書館を開設するとともに、平成20年5月1日に北図書館を開設しました。 [今後の取組・課題] 引き続き、市民の要望に応じた利用しやすい施設を目指します。	[] ()		平成19年4月より事業の担当課は、北浦和図書館のみとなりました。 平成19年11月29日に開設された中央図書館に所管が変更されました。
3202	市民大学の充実	教育委員会 生涯学習振興課	市民の高度で専門的な学習意欲に対応するため、市民大学の講座内容を充実し、魅力的なカリキュラムづくりを進めるとともに、各生涯学習施設と連携し多様な学習機会の場を提供します。	受講者 372人/年	500人/年	平成19年5月から20年2月までの間に、教養一般・教養発展・生涯学習企画・文学・歴史・美術・読書ボランティア養成の7分野の講座を開設し、20代から80代までの幅広い市民の方々449人が受講しました。 [今後の取組・課題] 市民自らが企画するなど、市民がより積極的に関わる内容の講座の開設に取り組んでいきます。	[] ()		
3203	(仮)鈴谷地区公民館建設事業	教育委員会 生涯学習総合センター	地域住民の生涯学習とコミュニティの活動拠点となる公民館を鈴谷地区に整備します。	検討	開設 (19年度)	平成19年4月に、中央区内公民館の統括拠点公民館として、また、地域住民の生涯学習、コミュニティの活動の拠点施設として開設しました。 重点事業として、コミュニティづくり、少子高齢化対応、子どもの居場所づくり、若者支援・団塊世代支援、時代に即応した拠点公民館職員研修の実施等、市民の自主的学習活動支援や現代的及び地域課題解決型の多様な学級・講座を行いました。 [今後の取組・課題] 引き続き、市民の要望に応じた利用しやすい施設を目指します。	(H18達成済) [] ()	107 地域住民の生涯学習とコミュニティの活動拠点となる公民館を鈴谷地区に整備します。	
3204	青少年の健全育成事業(再掲6章2節)	保健福祉局 青少年課	青少年の健全育成のため、青少年が主体的に参加できる成人式や青少年の主張大会の開催、青少年育成さいたま市民会議が行う地域巡回活動や非行防止キャンペーンへの支援、青少年健全育成を目的とした市民活動への支援などを行います。	推進	推進	平成20年1月14日に新成人の意見を取り入れ、新成人主体の成人式を開催し、10,627人が参加しました。 また、青少年育成さいたま市民会議及び青少年健全育成を目的とした市民活動への補助・支援等を行い、巡回活動、非行防止キャンペーンやイベント等が開催されました。 [今後の取組・課題] 青少年が主体的に参加できる事業を充実・推進します。	[] ()		平成19年4月の組織改正に伴い、市民局より移管しました。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第3節 生涯スポーツの振興										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3301	秋葉の森総合公園整備事業(再掲4章3節)	都市局	都市公園課	緑に囲まれた豊かな自然環境の中で、快適にスポーツを楽しめる多目的スポーツ広場を整備します。	事業中	ピクニック広場整備 (17・18年度) 散策路整備 (19・20年度) 事業中	北側ゾーン10haのうち、ピクニック広場を整備しました。 [今後の取組・課題] 平成20年度に北側ゾーンが完成する予定です。南側ゾーンについては自然を活かした公園整備が計画されているため、環境に負荷をかけない整備を推進していきます。	[] ()		平成19年4月の組織改正に伴い、公園みどり課より担当課を変更しました。
3302	校庭開放夜間照明整備事業	教育委員会	体育課	市民の身近なスポーツ・レクリエーション活動の場として、市内小中学校の夜間開放を行うため、照明設備未設置の学校での整備を計画的に進めます。	設置済 18校	22校	大宮区・第二東中学校に夜間照明設備を設置し、夜間の開放を開始しました。 設置済 20校 [今後の取組・課題] 周辺環境に配慮し、未設置区の学校へ計画的に設置を予定しています。	[] ()		
2408	障害者のスポーツ参加の推進(再掲2章4節)	保健福祉局	障害福祉課	障害者のスポーツ活動の促進のため、全国障害者スポーツ大会等に参加するとともに、障害者スポーツ教室の開催、障害者の交流の場であるふれあいスポーツ大会についても充実を図ります。	初級障害者スポーツ指導員養成 0名 推進	120名 推進	全国障害者スポーツ大会(秋田わか杉大会)に、平成19年10月13日から15日までの3日間、個人競技に17名が参加することができました。障害者スポーツ教室は12回開催し、207名が参加しました。 [今後の取組・課題] スポーツ大会・スポーツ教室の周知の徹底を図ってまいります。	[] ()		スポーツ指導員の養成は、障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年度から、都道府県に移管されましたので、今後は、障害者スポーツ教室などを通じて、障害者のスポーツ参加を推進していきます。
3303	国際スポーツイベントの開催支援・招致(再掲7章1節)	政策局	スポーツ企画課	埼玉県を主体として開催される「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」の会場市として県と連携し、大会を支援します。また、各種国際スポーツ大会の招致に取り組み、さいたま市を世界に発信します。	バスケットボール世界選手権開催準備	バスケットボール世界選手権開催(18年度) 推進	「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」については、埼玉県と共に大会のPRと開催気運の醸成を図りました。ファイナルラウンドを行ったさいたまスーパーアリーナでは、126,150人の観客が世界最高水準のプレーに酔いしれました。24の国・地域の人々が参加し、世界130以上の国に映像が配信されたことにより、国内外にさいたま市をPRするとともに、イメージアップが図れました。国際スポーツ大会の招致については、平成18年度から19年度までに市内で開催された各種国際大会への支援を通して、国際大会運営のノウハウの蓄積を図りました。 [今後の取組・課題] 開催された国際大会の実施結果等を踏まえ、市として国際大会を開催誘致・支援する場合の基本的事項について、調査研究を進めていきます。	[] ()	56 国際スポーツイベント「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」の開催を支援します。 56 ユニバーシアード等国際大会招致のための運動を展開します。	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第3節 生涯スポーツの振興										
番号	事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3304	シティマラソンの開催	教育委員会 体育課		市民のスポーツに対する意欲・関心を促すため、全国規模のマラソン大会を開催します。	参加者 3,500人/年	4,000人/年	平成19年11月23日(祝・金)にハーフマラソンの部及び3K mの部を実施し、4,670人の参加申込者(出走者4,066人、完走者3,984人)がありました。 [今後の取組・課題] 引き続き安全に配慮して実施します。	[] ()		
3305	さいたま・たていわ親善ツアーデーマーチの開催(再掲7章1節)	教育委員会 体育課		友好都市の市民がともに村内を歩き、豊かな自然や地域文化への理解、健康・体づくりをテーマに交流を図るツアーデーマーチを開催します。	参加者 163人/年	200人/年	平成19年10月6日(土)～7日(日)、南会津町において実施しました。171人の参加申込者がありました。 [今後の取組・課題] 参加者の安全を確保しながらコースの工夫を行います。	[] ()		
3306	総合型地域スポーツクラブ支援事業	政策局 スポーツ企画課	教育委員会 体育課	「一市民一スポーツ」を基本理念に、多様な世代による地域の自主的な企画・運営を行う総合型地域スポーツクラブづくり支援します。	総合型を目指して活動しているクラブ数 9クラブ(8区)	各区 1クラブ以上	総合型地域スポーツクラブ推進委員会を継続的に開催し、情報交換と課題を確認し検討する場を設けました。また、県内先進クラブを視察するとともに、市内で活動する総合型地域スポーツクラブの活動事例集を発行し、体育関連施設に配布しました。総合型を目指して活動しているクラブ数10(8区) [今後の取組・課題] 引き続き、各区1クラブ以上の総合型地域スポーツクラブ発足を目指し、育成の支援をするとともに、新たな部活動との連携に取り組みます。	[] ()	58	総合型地域スポーツクラブの支援を通じて、地域サッカーチームを育成します。
3307	さいたまシティカップ開催事業(再掲7章1節)	政策局 スポーツ企画課		浦和レッズ・大宮アルディージャと世界の強豪クラブチームとの国際親善試合を定期的で開催し、多くの市民に世界の一流プレーを間近でみる機会を提供し、「サッカーのまちづくり」を国内外に発信します。	累計入場者数 109,910人	360,000人	平成19年7月17日第5回さいたまシティカップを浦和レッズ対マンチェスター・ユナイテッド(イングランド)の対戦で開催し、会場となった埼玉スタジアムに58,716人の観客を集めました。 累計入場者数 254,788人 [今後の取組・課題] 過去5回の開催同様に、多くの市民に世界の一流プレーを間近で見る機会を提供していきます。	[] ()	55	さいたまシティカップを開催します。
3308	サッカーのまちづくり推進事業	政策局 スポーツ企画課		サッカーのまちづくり推進協議会による高校サッカー選手団海外派遣や浦和レッズ、大宮アルディージャへの支援などを行い、サッカーを核とした市民スポーツの振興、地域の活性化を推進します。	市内の施設でサッカーに親しんだ(競技、観戦した)人々の数 1,293,000人/年	1,500,000人/年	さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会による高校サッカー選手団海外派遣や浦和レッズ、大宮アルディージャへの支援などを行いました。市内の施設でサッカーに親しんだ人々の数 1,648,407人 [今後の取組・課題] 平成20年度が「埼玉サッカー100周年」を迎えることもあり、更に「サッカーのまちさいたま」を内外に発信すべく様々な事業に取り組んでいきます。	[] ()		

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第4節 さいたま文化の創造										
番号	事業の名称	担当課		現況(H17年度当初)	現況(H17年度当初)	H20年度末計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3401	盆栽文化の振興・活用(再掲5章2節)	市民局 文化振興課 文化施設建設準備室	経済局 観光政策室	盆栽文化振興・活用基本構想に基づき、盆栽関連施設を整備し、施設を核とした盆栽文化ネットワークを構築します。また盆栽村の積極的なPRを行い盆栽文化を振興します。	盆栽村来訪者 20万人/年	40万人/年	平成19年度は、北区土呂町2丁目に盆栽関連施設建設の用地を埼玉県から無償貸与を受けるとともに、施設建設のための基本・実施設計を行いました。 また、世界に誇れる銘品盆栽、貴重な盆器等を購入しました。 平成19年度の盆栽村来訪者29.7万人 [今後の取組・課題] 盆栽関連施設等基本計画の策定に時間を要し、計画に遅れがでていますが、平成20年度に盆栽関連施設の建設工事を開始し、平成21年度末の開館を目指します。	[] ()	79 さいたま市の地域資源であり、世界にも誇れる盆栽文化の振興・活用を図ります。	平成19年度より事業の担当課が、政策局都市経営戦略室(旧総合政策担当)を除き、文化振興課と観光政策室のみとなりました。 平成20年4月の組織改正に伴い、文化振興課より担当課を変更しました。
3402	氷川参道の整備(再掲4章1節)	都市局 大宮駅東口まちづくり事務所		都心における緑や歩行者のネットワークを形成するため、氷川参道(大宮中央通線以南)をうるおいのある歩行者空間として整備します。また、地元まちづくり組織等とのパートナーシップにより緑の保全を図りつつ沿道等のまちづくりを進めます。	氷川参道(大宮中央通線以南)における歩行者空間の確保率41.6%	100%	氷川参道の整備については、北区間の整備方針に関して、地元意見交換会やアンケート調査を実施したほか、地元まちづくり団体との協働により、平成ひろばの樹木調査を実施し、成果を取りまとめ、提言書として、関係各所に提出しました。 歩行者空間の確保率76.9% [今後の取組・課題] 氷川参道北区間について、沿道住民及び関係者との話し合いを進め、整備方針を決定し、安全な歩行者空間確保のための歩車分離整備工事をを行います。	[] ()	71 大宮駅東口再生プランを実現するため、パートナーシップによる新たなまちづくりに取り組みます。	平成19年4月の組織改正に伴い、大宮駅周辺計画管理課より担当課を変更しました。
3403	見沼通船堀公園整備事業	都市局 都市公園課		国指定史跡の見沼通船堀と周辺の斜面林を取り込み、見沼田圃の環境に調和した、歴史と自然に触れ合える総合公園を整備します。	事業中	事業中	事業用地(0.24ha)の取得を行いました。 [今後の取組・課題] 今後も事業用地を継続的に取得し、早期の開設を目指します。	[] ()		平成19年4月の組織改正に伴い、公園みどり課より担当課を変更しました。
3404	鉄道博物館の整備促進(再掲5章2節)	市民局 文化振興課		東日本鉄道文化財団による鉄道博物館の整備に伴い、本市の地域資源である鉄道文化を生かした魅力あるまちづくりを促進します。	促進	完成 (19年度)	鉄道の日である平成19年10月14日に、鉄道博物館が開館しました。 日本最大級の模型鉄道ジオラマやD51の運転シミュレータなどがあり、オープン以来、平成20年3月末までに入場者が100万人を突破するなど、さいたま市ブランドとも言えるオリジナリティあふれる施設として、毎日多くの方が来館しています。 [今後の取組・課題] 本市の魅力ある資源の一つである「鉄道文化」の振興及び普及啓発を図るため、鉄道博物館と連携し、事業等を行います。	[] ()	82 鉄道博物館の整備を促進します。	

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第4節 さいたま文化の創造										
番号	事業の名称	担当課		現況(H17年度当初)	現況(H17年度当初)	H20年度末計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3405	スポーツ文学賞事業	市民局	文化振興課	スポーツと芸術文化活動が盛んな本市のアピールのため、全国からスポーツをテーマとした文芸作品を募集し、作品集「SPORTS STORIES」を刊行します。	推進	推進	<p>本事業は、2カ年事業として、平成19年度に作品募集の広報活動を、平成20年度に作品の選考・表彰及び作品集の刊行・販売を行います。</p> <p>平成19年度の応募結果は、文学賞162編、エッセイ賞219編(計381編)となり、第3回(平成17年度募集)を上回る応募となりました。</p> <p>[今後の取組・課題] 効果的な広報活動による応募作品数の増加、及び作品集の販売数の増加を目指します。</p>	[] ()		
3406	漫画・ユーモア文化の振興事業	市民局	文化振興課	地域の特色ある文化資源である漫画の重要な要素としてのユーモアをもとに、心の豊かさを実感できる場や機会を提供するため、国際漫画フェスティバルやユーモアフォトコンテストなどの事業を積極的に展開し、新たな都市文化の創造を目指します。また、(仮)ユーモアセンターをプラザノースに整備し、漫画・ユーモア文化の展開・情報発信を行います。	推進	推進	<p>漫画・ユーモア事業として「国際漫画フェスティバル」、「ユーモアフォトコンテスト」を実施しました。国際漫画フェスティバルでは、「オープンする」をテーマに国内60人・海外63人の漫画家に216点の作品を協力いただき、平成19年11月1日から6日まで、大宮西口共同ビルで展示会を開催しました。ユーモアフォトコンテストには、全国から853人、2,313点の応募をいただき、平成19年10月30日から11月5日に、そごう大宮店3階連絡通路で入賞作品展を開催しました。</p> <p>[今後の取組・課題] 平成20年5月供用開始となる「プラザノース」内に芸術創造・ユーモア機能の導入が決まり、今まで行ってきた漫画・ユーモア事業が引継がれることから、PF事業者との連携を図りながら、漫画・ユーモア文化の振興を図る必要があります。</p>	[] ()		
3407	(仮)岩槻人形会館整備事業(再掲5章2節)	市民局	文化振興課 文化施設建設準備室	さいたま市の伝統文化のひとつである人形文化を広く内外に発信し、生きた文化として継承するため、地域の魅力とにぎわいを高める拠点ともなる(仮)岩槻人形会館を整備します。	構想・検討	完成	<p>平成19年度は、「(仮称)岩槻人形会館整備基本構想・計画策定懇話会」を3回開催し、基本構想・基本計画(素案)を取りまとめました。素案についてパブリック・コメントを実施し、基本構想・基本計画を策定しました。</p> <p>また、事業用地の取得に努め、契約を締結しました。</p> <p>[今後の取組・課題] 用地取得の遅延により、スケジュールに遅れが出ていますが、策定した基本構想・計画を踏まえ、平成20年度は基本設計・実施設計を行い、平成23年度中の開館を目指します。</p>	[] ()	平成20年度を目標に81 岩槻人形会館を建設します。	平成20年4月の組織改正に伴い、文化振興課より担当課を変更しました。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成19年度実施状況一覧表

第3章 教育・文化・スポーツの分野										
第4節 さいたま文化の創造										
番号	事業の名称	担当課		現況(H17年度当初)	現況(H17年度当初)	H20年度末計画目標	H19年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
3408	歴史的資源の保存・整備事業	教育委員会	文化財保護課	貴重な文化遺産である文化財を次世代へ継承するとともにその活用を図るため、国指定史跡真福寺貝塚や県指定史跡岩槻藩遷喬館などの文化財の保存整備を進めます。	推進	推進	<p>真福寺貝塚整備事業では、史跡指定地内に残る私有地のうち1筆を、所有者の申出に応え買上げました。(買上げ面積34555㎡)。</p> <p>また、遷喬館整備事業では、岩槻藩遷喬館の整備を図るため、隣接地の用地交渉を進めました。</p> <p>[今後の取組・課題]</p> <p>真福寺貝塚整備事業では、残る私有地の所有者の意向に留意し、公有地化を進め、将来の史跡公園としての整備に向けた取り組みも進めます。</p> <p>また、岩槻藩遷喬館を歴史的資源としてより有効に活用するため整備計画の検討するとともに、引き続き、隣接地の用地交渉を進めます。</p>	[] ()		遷喬館整備事業は、博物館が所管しています。